

平成 18 年 1 月 13 日

各 位

会 社 名 エルピーダメモリ株式会社
代表者名 代表取締役社長 坂本幸雄
(コード番号 6665 東証第 1 部)
問合せ先 取締役・C O O 大塚周一
(TEL . 03 - 3281 - 1500 (代))

第 3 四半期・業績予想修正に関するお知らせ

平成 18 年 3 月期の第 3 四半期(平成 17 年 10 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)の連結業績予想について、平成 17 年 10 月 25 日に公表いたしました業績予想から以下のとおり修正いたします。

記

1 . 第 3 四半期(平成 17 年 10 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)連結業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	58,000 ～ 63,000	1,500 ～ 4,500	500 ～ 3,500	1,000 ～ 4,000
今 回 修 正 予 想 (B)	59,000	650	700	160
増 減 額 (B - A)	1,000 ～ 4,000	850 ～ 3,850	1,200 ～ 4,200	840 ～ 3,840
増 減 率 (%)	1.7 ～ 6.3	56.7 ～ 85.6	-	84.0 ～ 96.0
前四半期実績(平成 18 年 3 月期第 2 四半期)(C)	57,467	2,513	3,685	3,038
増 減 額 (B - C)	1,533	3,163	2,985	3,198

(参考) 1 株当たり予想当四半期純利益 1 円 66 銭

2 . 上記修正の理由

当第 3 四半期(平成 17 年 10 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)の業績は、出荷ビット数量の増加(11%)と製品構成の改善により売上高が第 2 四半期に対して約 15 億円の増収となる見込みとなりました。これに加え、E 3 0 0 エリア 2 の稼働開始等により、営業損益は昨年度第 4 四半期以来の黒字になるものの、10 月発表の予想値に対しては未達となる見込みとなりました。これはスポット市場の平均価格(512Mb DDR2)が当四半期中に約 25%下落する中で、当社の平均販売価格も予想(最大 5%)を上回り、7%の下落をしたことが主な要因です。また、特別利益として固定資産売却益(約 10 億円)の計上を予定しております。

なお、第 3 四半期の業績の詳細については、**平成 18 年 1 月 24 日の株式市場前場終了後**に発表を予定しております。また、その際に第 3 四半期の業績と最新の市場環境等を考慮した第 4 四半期の業績見込みも合わせて発表を予定しております。

* (注意事項)

当資料に記載の当社(連結子会社を含む)の業績見通しは将来に関する情報であり、これらの将来に関する情報は発表日時点において当社が判断したものであります。これらの将来に関する情報には不確実性が内在しており、設備拡充とそれに引き続く設備過剰、価格下落圧力および業界再編のサイク

ルに特徴づけられるD R A M市場の全世界における変化、競争の激しいD R A M業界における変化、技術および設計の変化、重要な原材料の供給の不足、中断および価格上昇、重要な顧客の喪失または需要の減少、米ドル・ユーロ等の為替相場の動向、経済一般の状況、当社グループの市場、設備または調達過程を損なう地震その他の自然災害、テロ行為、疫病、暴動その他の当社グループのコントロールの及ばない事象等の様々な要因により、将来において生じる当社グループの実際の経営成績等とは一致しない可能性があります。

以 上